

支援プログラム

ひがしどおり児童発達支援事業所TAOTAO

令和8年4月1日

法人(事業所)理念	法人理念	一人一人の子どもに「健康教育・遊びを通した知育・芸術的感性」など豊かに生きるための基礎を身に付ける（桜沢・坂崎メソッド）		
	事業所理念	「生きる力」と「心と身体の自立」を身に付ける		
支援方針	支援を必要とする園児が将来社会の一員として充実した社会生活を送ることが出来るよう、また、個々の児童が持つ「生きる力」を自ら最大限に活用出来るよう、ムーブメント・ベースド・ランニングの考え及び音楽的療法を通して「心と身体の自立」を身につける			
営業時間	9：00～16：00		送迎の有無	あり・なし

支援内容

本人支援	健康 生活	<ul style="list-style-type: none"> ・健康で安全な生活や、基本的な生活習慣の確立を目指し、プログラムを実施。 ・個々の特性に配慮し、視覚支援を行い、時間や空間を本人にわかりやすく構造化する。 		
	運動 感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的機能の向上や、様々な感覚を活用しながら活動を楽しむ。 ・リトミックで基本動作を身につけたり、運動器具でを使って全身運動を楽しむ。 ・手先の活動による微細運動や、五感を味わうプログラムを実施。 		
	認知 行動	<ul style="list-style-type: none"> ・認知機能の発達や適応行動の習得を目指した支援を提供する。 ・色・形・数・数量・重さ・空間・時間などを、教具や絵本などを使ってプログラムを実施。 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言語の習得・受容・表出、コミュニケーション能力の獲得を目指した支援を提供する。 ・子どもの特性に応じた意思の表し方で気持ちを伝えられる環境の設定。 ・子どものレベルに合わせて学習のスキルが身につくプログラムを実施。 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・他者との関りの形成と自己の理解とコントロールを目指した支援を提供する。 ・ルールを理解し守りながら、集団活動に参加したり共同遊びを楽しむ環境の設定。 ・自分なりの気持ちのコントロールの仕方が身につくプログラムの実施。 		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での困り感についての相談や援助を行い、保護者の心配を軽減する。 ・保護者の集いを通して、保護者同士のつながりを持つ機会の提供。 ・研修や講習会のお知らせをし、家族の学びの場の提供。 ・きょうだい児への支援。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園での集団生活での支援方法の統一化。 ・就学先との連携。 ・移行先への相談援助。 	
地域支援 地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園や各関係機関と情報共有。 ・災害時などの協力要請。 ・地域行事などへの参加。 	職員の質の 向上	<ul style="list-style-type: none"> ・発達や障害の基礎知識に関する研修。（各ガイドライン研修含む） ・インクルーシブサポートブックの活用。 ・虐待防止、感染症・衛生管理、事故防止、災害などの研修。 ・安全教室、避難訓練、不審者対応訓練及びBCP対応訓練の実施。 	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に関する制作活動の実施。 ・こども園と一体型の利点を生かし、こども園の行事と一緒に参加。 			